

**VR/AR/MR ビジネス EXPO TOKYO
出展のご案内**

**2018年7月
株式会社Mogura**

VR/AR/MRへの企業からの関心が高まっている現状に対して、業界企業とのつながりが弱くなっている。企業同士を繋げるビジネスマッチングの場の必要性が高い。

VR/AR/MRの
産業活用に関心が
ある企業

VR/AR/MRビジネス
EXPO

ソリューションを提
供している業界企業

- ・「エンタメ向けの体験機会が多い」
- ・「事業で導入するイメージがわからない」
- ・「技術もコストも分からない」
- ・「作るために誰に相談すればいいのか分からない」

- ・「認知度向上が必要」
- ・「体験する場は自社内のみ」
- ・「依頼が多すぎて断っている」
- ・「自社以外のサービス提案はしにくい」

VR/AR/MR ビジネスEXPO TOKYO概要

Mogura

主催: 株式会社Mogura、DBJキャピタル株式会社

日時: 2018年10月4日(木) 10:00~18:00

※設営: 10月3日(水) 15:00~20:00、10月4日(木) 9:00~10:00

場所: AKIBA_SQUARE (秋葉原UDXビル2階、JR秋葉原駅徒歩2分)

入場料: 3,000円

出展社数: 20~27社(一般応募あり)

応募期間: 7月中旬~8月上旬

出展料: **1小間11万円(税別)** (出展料10万円+机椅子基本レンタルセット1万円)

※1小間あたりの面積は3m×4m

※1社複数小間の申込も可能、要相談

※机1脚、椅子2脚、ブース間のパーテーションは主催にて用意。机や椅子を増やす際は追加料金。

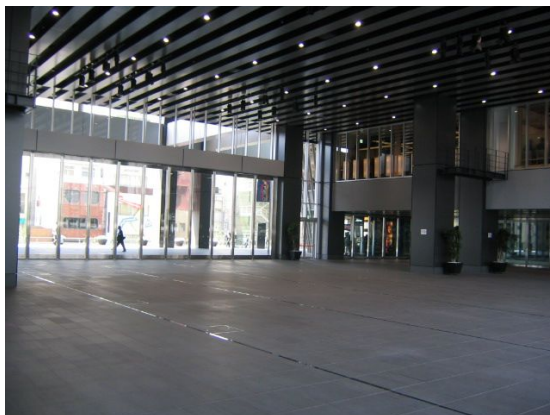
来場者数目標: 500名

●VR/AR/MR ビジネスEXPOの特長

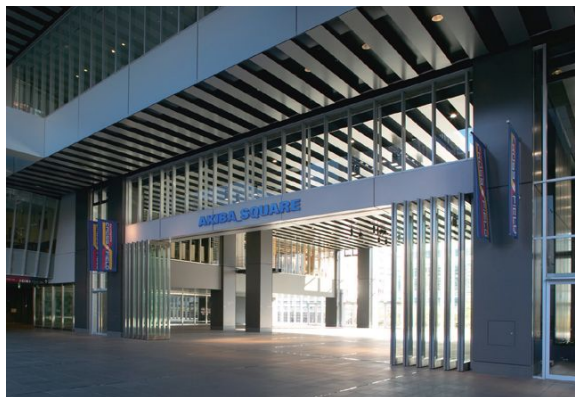
- ・国内最大のVR/AR/MR専門メディアMogura VR及び日本政策投資銀行グループによる集客。
- ・有料イベントのため、商談目的の来場者が非常に多い。
- ・入場時間をチケットで区切り、来場者の集中による混雑を緩和。
- ・Mogura VRにて事前の各ブース紹介記事を掲載。
- ・VR/AR/MRを知り尽くしているMoguraスタッフによるサポート(センサー同士が干渉を受けないブース配置等)



(会場正面)



(会場内部)



(会場正面)



(利用例)



過去2回の開催実績—開催概要

DBJキャピタル様と共同企画で2017年9月(東京)、2018年2月(大阪)の2回開催。いずれも200名以上が来場し、来場者・出展者とも満足度の高い結果となった。

●第1回「VR/AR/MR ビジネスEXPO」

主催:株式会社Mogura、DBJキャピタル株式会社
日時:2017年9月8日(金) 11:00 - 16:00
場所:大手町フィナンシャルシティサウスタワー3階
入場料:3,000円

来場者数:210名

参加企業 14社
DVERSE Inc.
株式会社eje
株式会社アルファコード
KDDI株式会社
株式会社ローランド・ベルガー & XVI株式会社
株式会社Synamon
積木製作株式会社

面白法人カヤック
FOVE Inc.
日本マイクロソフト株式会社
グリー株式会社
株式会社ダブルエムエンタテインメント
株式会社ホロラボ
株式会社ネクストスケープ

●第2回「VR/AR/MR ビジネスEXPO OSAKA」

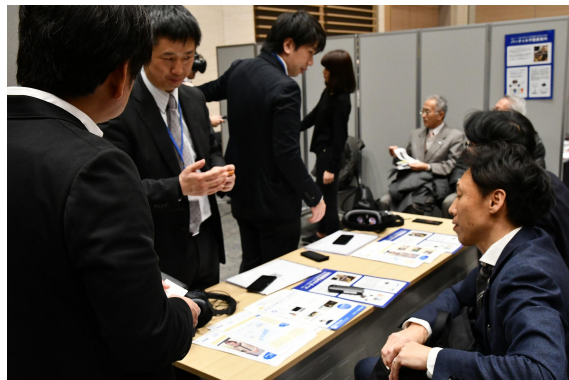
主催:株式会社Mogura、DBJキャピタル株式会社、
日本政策投資銀行関西支店
協力:阪急電鉄株式会社
日時:2018年2月21日(水) 11:00~16:00
場所:コングレコンベンションセンター ホールC
入場料:3,000円

来場者数:191名

参加企業 14社
株式会社アルファコード
KDDI株式会社
積木製作株式会社
株式会社ネクストスケープ
CADNET株式会社
株式会社エフマイナー
株式会社神戸デジタル・ラボ & 株式会社モリサワ

株式会社Psychic VR Lab
株式会社ハコスコ
HTC NIPPON株式会社
株式会社モノビット
フォージビジョン株式会社
愛知工科大学板宮研究室
株式会社MARUI-Plugin

過去2回の開催実績—会場の様子

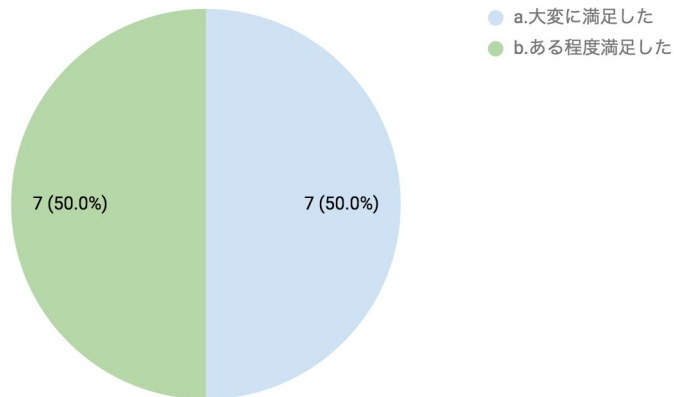


過去2回の開催実績一高い満足度と商談実績①

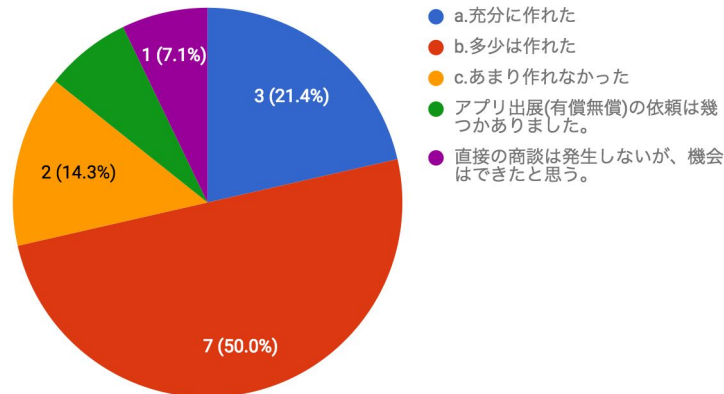
- ・出展14社中全社が「満足」と回答
- ・何らかの商談機会を「作れた」と回答した企業は全体の78%(11社)

VR/AR/MR ビジネスEXPO 第2回 出展者アンケート結果抜粋

満足度



商談機会をつくれたか

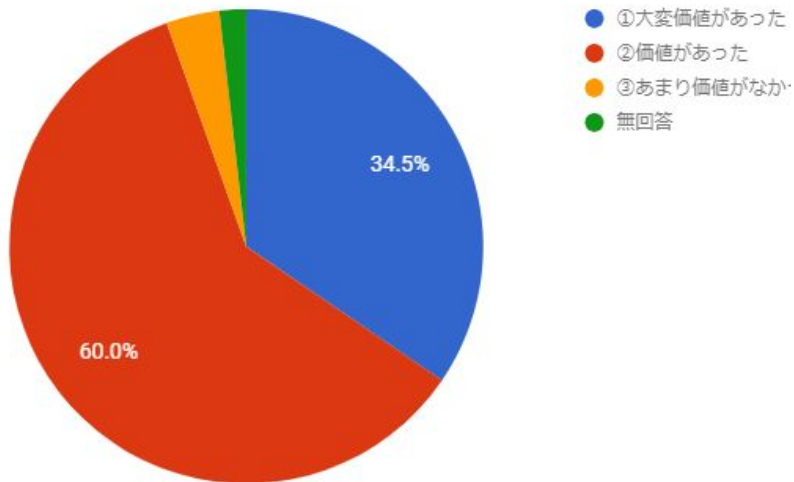


- ・来場者層がしっかりとしていて、いわゆる「変な客」が無いのはとてもありがたい。きちんとした客層に繋がっている安心感がある。
- ・展示を体験していただく事により興味を持って頂ける方が多く、連絡を頂けている。
- ・ご来場者様の参加モチベーションが高かった。
- ・VRの利用に意欲のあるお客様が多く、またVRに適した広いスペースでの展示が可能であったため。
- ・第一回同様に、混み過ぎること無く程好い来場者数のバランスだった。

過去2回の開催実績—高い満足度と商談実績②

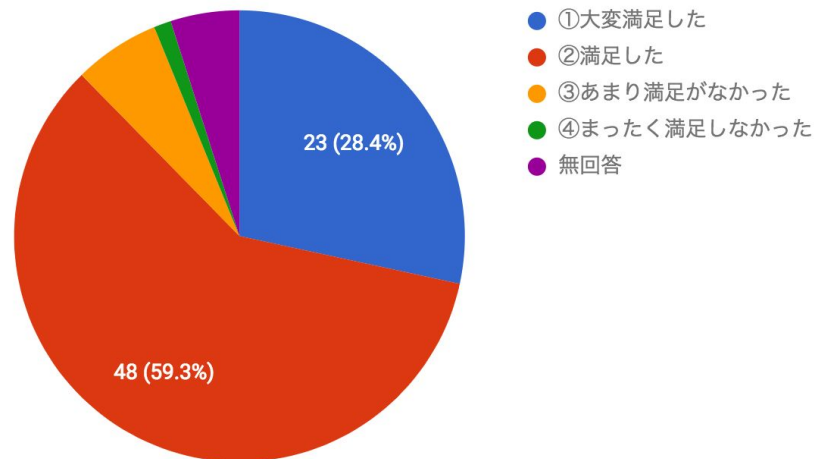
第1回 来場者アンケート結果抜粋 (回収率30%)

価値度合い



第2回 来場者アンケート結果抜粋 (回収率42%)

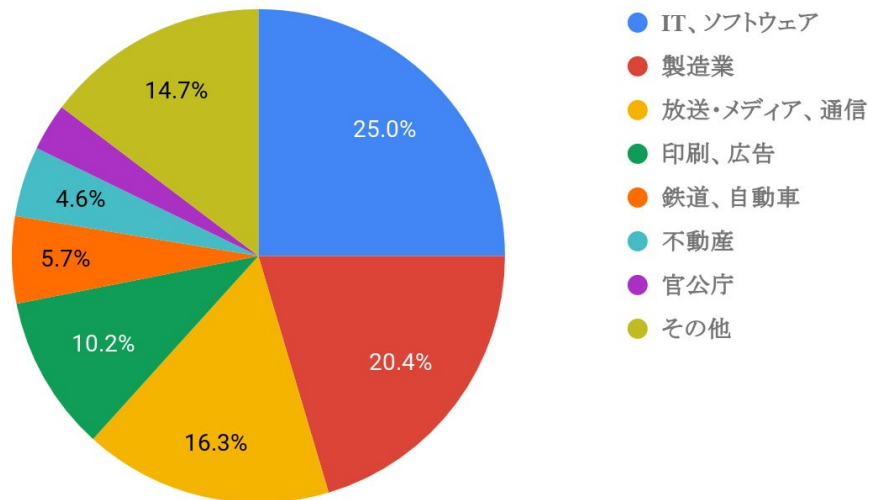
満足度



※来場者の年齢の分布は、30～50代の比率が、第1回が80%超、第2回70%超と通常のVR展示会よりも年齢層は高め

第1回 来場者所属業界内訳

来場者業種内訳



※ITやメディア業界に限らず、鉄道、官公庁などを含む幅広い業界の関係者が来場。

(参考) Mogura = “ハブ” — 情報・人・企業が集まる

株式会社Moguraが目指すのは、VR/AR/MRの普及を加速させ、より豊かな体験を世の中に溢れさせること。一般消費者に加え、業界を様々な側面から支援するハブ(Hub)として各種事業を展開。

イベント

BtoB向けのマッチングイベント、セミナーなどこれまで多数開催、開発者向けのハッカソン

コンサルティング リサーチ等

「VR等のコンテンツ制作技術活用ガイドライン 2018」(H29年度経産省補助事業)制作など官民の調査案件、企業コンサルティング等を手がける

VRを「あたりまえ」に

メディア (Mogura VR)

国内最大のVR専門メディアMogura VR等を運営。VR/AR/MR/VTuberに関する多様な情報を発信。18年直近は、月間200万PV over / 100万UU over

体験機会創出

VR体験会をソフトウェア選定やスタッフなど込で運営するサービス「出前VR」などを通じてVR/ARの体験機会の増加に注力。

製品販売

VR体験の必需品「ニンジャマスク」、HTC Viveを使ったモーションキャプチャツール「Orion」などVRに関連した製品を販売。

(参考) イベント開催・協力実績

Moguraでは、多彩な種類のVRイベントを開催・登壇。企画サポートも行うほか、メディアの強みを活かした集客力が特長。開催後には記事でフォローアップを行い、イベントの盛り上がりをさらに拡散。



弊社イベント開催実績(一部)

- ・「Japan VR Hackathon」(2016年5月、日本全国7都市、総参加者数 **300人**規模):ハッカソンとしては国内最大規模
- ・「VR元年に何が起こったのか」(2016年12月、**200人**規模):ソニーインタラクティブエンタテインメント吉田修平氏、ハコスコ藤井直敬氏、バンダイナムコエンターテインメント田宮幸春氏などが登壇

弊社イベント協力実績(一部)

- ・「VRビジネスの今を知る“実践者”が語るビジネス×VR」(2017年3月、**100人**規模):企画協力、GMOクラウド株式会社様主催
- ・「Mirage Solo Developer Meetup」(2018年5月、**50人**規模):企画協力、運営支援、株式会社レノボ・ジャパン様主催